

## 令和 7 年度第 1 回 徳島県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和 7 年 8 月 19 日（火）14：00～16：00

開催場所：徳島県 JA 会館本館 8 階特別室

出席者：委員 7 名（うち代理出席者 2 名）

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
4. 閉会

議事 1 地域年金展開事業の概要および令和 6 年度事業結果報告（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）について、徳島北年金事務所三橋所長より説明。

＊ 主なご意見、要望、質問および回答等

（河野委員）

セミナーの開催状況の実施割合が四国の中で徳島が一番低いが、他県との取り組み内容等違いはあるのでしょうか？

（日本年金機構）

カリキュラムが決まった後でのアプローチをしていることから、セミナーを受講する時間が取れないということが大きな要因ではないかと考えており、早めのアプローチが必要と思っております。また、四国の他 3 県には次代を担う若い世代に対して、公的年金制度の仕組み等を正しい理解の普及を推進するため、学校との連絡・調整や生徒へのプレゼン能力に長けた教職員 OB を地域年金推進員として委嘱しておりますが、徳島県には地域年金推進員がいない状況です。学校とのつながりが深い地域年金推進員が学校側との調整を行い、年金セミナー開催するという事ができないことも影響があったと思います。

（上田委員）

出張年金相談で、予約なしの方の対応はどのようにしているのでしょうか。

（日本年金機構）

出張相談は事前に予約者の情報を元に必要なハードコピーなどを準備しており、また当

日は必要最低限の相談員での対応を行っております。予約なし者の対応は、予約の方の合間に行っておりますが、出張相談は会場を借りて開催しておりますので、時間の都合上お断りしているケースもあると思われます。そうしたことがないよう、市町村と連携を行い予約相談の推奨していきたい所存です。

(土崎委員)

専修学校 19 校あるが、開催数が 1 校となっている。専修学校の生徒は 18 歳以上だと思うが、専修学校のセミナー開催が低い原因は何でしょうか？

(日本年金機構)

専修学校についてもカリキュラムがいっぱいなので、なかなかセミナー開催の実施が難しい状況となっております。今後は、セミナー担当職員と連携を取りながら 1 校でも多くの学校で開催して頂けるようアプローチをしていきます。

(古谷委員長)

地域型年金委員の減少の原因と新規の開拓はどのようなことをされているのでしょうか。

(日本年金機構)

地域型の年金委員は平均年齢が高く、高齢となりやめていくということが多いようです。本来は解嘱される際に次の方をご紹介して頂くのが理想ですが、なかなかそうしたことは難しい状況です。地域に密着されている方になっていただくのが良いので、市町村職員や民生委員、関係団体の職員等に依頼を行うため、各種会議等に参加させて頂き、開拓を進めております。

議事 2 令和 6 年度その他の取り組み（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）について、徳島南年金事務所北岡所長より説明。

＊ 主なご意見、要望、質問および回答等

(河野委員)

学生向けセミナーでエッセイ募集の呼びかけをしているとのことだが、エッセイ募集期間は 6 月から 9 月初旬までですが、昨年度セミナーは 10 月以降に実施されております。今後、エッセイ募集期間に、セミナー開催される予定はあるのでしょうか。

(日本年金機構)

学校側の事情というところが大きく、高校であれば 3 年生対象に受験が終わった方を対象というところが多く、前半の 6 月から 9 月に開催するのは難しい状況です。エッセイは、年金制度の意義や公的年金制度と国民の皆様との結びつきを考えて頂く重要な機会

となるので、今後もしっかりと呼び掛けていく所存です。

(上野委員)

多岐にわたって色々な取り組みを行っておられるが、参加している方には情報は届けられているが、参加していない方への広報はどのように考えているのでしょうか。また、AIを活用して疑問点を解決できるようにしたらよいのではないのでしょうか。

(日本年金機構)

引き続き、職域型、地域型の年金委員を活用し各々の活動場所で公的年金の周知・啓発、相談等を行って頂きたいと考えております。そのためには、年金委員に対して手厚い研修等を行い、更なる委嘱数を増やしていく所存です。現在のところAIの活用はありませんが、事前に定義されたルールやスクリプトに従って定型的な質問応答ができるチャットボットは取り入れております。

(藤本委員)

SNSを活用した情報発信をおこなっていますか。

(日本年金機構)

日本年金機構において既にユーチューブやX(旧Twitter)、Facebookを活用した情報発信を行っております。

(古谷委員長)

年金は公的なものなので、一人も取り残せないという事になるが、情報発信について大学生のようなスマホ世代の若年層に対してどのようなアプローチをしているのか、また高齢の情報弱者の方々に対してはどのようなアプローチをしているのか教えて頂きたいです。また、ねんきんネットについて、マイナンバーカードを作ることに対して抵抗がある方、マイナンバーカードは作ったがネットに疎い方については、どのような取り組みを行っていくのかを教えて頂きたいです。

(日本年金機構)

スマホ世代についてはSNSを活用した情報発信を行い、スマホを活用していない世代については、市町村との連携を図るとともに広報誌等に情報の掲載をお願いしております。また、年金委員の方の地道な活動にも期待をしております。また、ねんきんネットについては、来所された場合は職員がお客様にスマートフォンを操作してもらいながら説明を行うという方法をとっております。マイナンバーカードを作ること自体に抵抗がある方の対応方法については、日本年金機構だけの問題ではないので、政府を含めて対応していかなければならない問題だと思っております。

20歳の方に国民年金加入のお知らせをお送りする場合、二次元コード入りのパンフレッ

トを送付しております。そちらを読み込む事で、より多くの情報を得られるようになっております。また昨年度新たな取り組みとして、確定申告時期に確定申告会場に職員を派遣し、ねんきんネットで簡単に源泉徴収票が確認できるようになりますので、来場者に対してねんきんネットへの加入勧奨を行いました。

議事3 令和7年度事業方針および令和7年度事業実施スケジュールについて、阿波半田年金事務所亀川所長より説明。

＊ 主なご意見、要望、質問および回答等

(河野委員)

徳島県教育委員会の中野様へお伺いしたいのですが、年金セミナーを開催するにあたり、高等学校への依頼を5月に行っているのですが、果たしてこの時期は適切なのでしょうか。また1年前に行うという事は難しいものなのでしょうか？

(金岡委員代理中野様)

年度当初である4月にセミナーの依頼をかけるのは学校の行事、業務を考えると難しいので、5月にして頂いていると思います。河野委員がおっしゃるとおり、1年前より依頼をいただくのは大変有意義なものと考えます。また、「わたしと年金」エッセイは学生であれば夏休みの時期に作成できるという期間に設けられておりますので、それまでの5月もしくは6月の間でどうか1回して頂きエッセイについての周知、募集を行って頂きたいです。またセミナーについても年1回ではなく、全学年対象に対して何回か行って頂きたいです。また、セミナーの内容についても年金の概要や卒業後の指導・指南だけではなく、年金に関わる大人たちがどのような動きをしているかも説明して頂きたいです。1年遡って依頼を頂ければ、学校も趣旨を理解し学期末毎に時間を取ることは可能だと思います。また、開催依頼をかける場合複数回に分けて、また対象を分けて開催内容の詳細を伝えれば、対象校も増えるのではないかと思います。

(日本年金機構)

ご意見ありがとうございます。今後のセミナー開催にあたりまして、参考にさせて頂きたいと思います。

(石崎委員代理梯様)

昨年度、外国人に対する年金制度説明会を開催して欲しいと意見をあげたのですが、今年度の事業実施スケジュールに7月、8月に開催予定とあるのですが、どのような開催方法を取られるのでしょうか。

(日本年金機構)

国際交流協会にアプローチを行い、まずは国際交流協会の職員に対して年金制度説明会を行い、続いて国際交流協会で行われている日本語教室の生徒向けと国籍別コミュニティに対しても開催する予定としております。また、短期大学の留学生向けに対しても行いました。こちらは、事前に基礎年金番号等の情報を頂き、あわせて説明会終了後に個別相談会も行いました。

(石崎委員代理梯様)

大学については留学生のお世話をする方がいるので良いのですが、専門学校の留学生にはそういった方がいないので専門学校についても働きかけをお願いいたします。

(日本年金機構)

専門学校についても、今後開催していくよう取り組んで参ります。

なお、日本年金機構のホームページには外国人向けリーフレットが掲載されております。年金事務所に来所された場合は、電話を使用しての通訳サービスもありますので、ぜひそうした事も市役所の方でもご案内いただければと思います。

(古谷委員長)

政府主導で金融教育も若年化で行うとなっているが、裾野を広げていくのであれば、年金セミナーを小学校、中学校に対しても行う予定があるのでしょうか。また、留学生たちが将来日本で就職した場合、企業における年金制度の周知徹底はどのように考えているのかお聞かせ頂きたいです。

(日本年金機構)

まずは、幼稚園・保育園児によるこども絵画展を開催し、絵画展の表彰式をあわせて保護者と一緒にねんきん教室に参加をして頂く事で小さい時から年金事務所に慣れ親しんでいただくようにしております。中学生以下のセミナーについては徳島県において現時点では開催予定はありませんが、日本年金機構本部において開催についても考えておりますので、今後は各年金事務所において検討していきたいと思っております。外国人へのアプローチについては、本部も手探り状態で動いてはおりますが四国四県の中で、徳島県は関係機関にアプローチを行い積極的に動いております。8月に徳島南年金事務所で開催予定ですが、企業からの要請があれば外国人向けのセミナーを年金事務所職員が事業所へ行って行います。